

第32回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会 アンケート集計結果

開催日時:令和6年12月19日(木)

回答人数41人

	医師	看護師	薬剤師	栄養士	PT
1.あなたの職種について教えてください	2	29	2	1	
	OT	ST	MSW	ケアマネージャー	訪問看護師
			2		4
	介護福祉士	その他			
		1			
2.現在の職業に就いてからの経験年数は何年ですか？	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無記入
	11	10	7	13	
3.通常の勤務で、緩和ケアに関わることがありますか？	はい	いいえ	無記入		
	36	5			
4.今回は複数の施設が関わった事例について検討を行いました。この検討会は地域間での連携を図る上で有効であったと思いますか？	大変有効である	有効である	あまり有効ではない	有効ではない	無記入
	31	10			
5.この検討会は、各施設で行われている緩和ケアについて理解するのに役立ちましたか？	大変役に立つ	役に立つ	あまり役にたかない	役に立たない	無記入
	26	13			2

6.検討会で取り上げて欲しいテーマについて教えてください

- ・緩和ケアや在宅へのつながりが上手くいかなかった症例。
- ・疼痛コントロールについて。
- ・がん患者さんのケア。
- ・事例の検討は参考になるので今後もやってほしい。
- ・疼痛コントロールを工夫した症例など。
- ・在宅への移行を試みたがうまくいかなかった事例があれば、今後の参考に聞いてみたい。
- ・AYA世代の緩和ケア。

7.その他に感想やご意見がございましたらお願いいたします

- ・地域での連携の重要性を感じた。
- ・今後も在宅と病院の交流が大切だと感じました。
- ・各立場からのケアや方針について意見を聞けて、今後の役に立つと思った。
- ・施設間での連携について、改善点についても知ることができたので良かったです。

- ・今後はもっと色々な職種の連携が必要になってくると思います。勉強になりました。ありがとうございました。
今回の事例は、退院となるいろいろな面でハードルが高くなると思うが、外出はどこまで大変ではなく、外出することで退院した時の問題点が分かり、良い方法だと思った。

- ・残された時間、本人の希望や不安をくみ取り、多職種と連携して希望に沿えるように支援する大切さを学びました。
- ・退院後の自宅での過ごし方を知ることができる機会は貴重だと思います。
- ・転院後や、在宅での様子などは知ることがあまりないため、訪問看護師さん等からのお話を聞けて良かった。

- ・患者さんの思い希望を聞き取り、無理と思える希望を実現できたこと、本当に素晴らしいと思いました。連携することの大切さも感じました。でも、何よりも思いを聞き取ることから全ての連携が始まったことを考えると、病棟の看護師さんの働きかけが鍵となったのだと思いました。自分にとっても大きな気付きになりました。ありがとうございました。

- ・実際に緩和の人でも家に帰りたいたいと話すけど、家族や本人の想いも気にかけていけないし、サポート状況にもよるので、慎重にアセスメントとして行うようにしなければと感じた。

- ・今まで退院や転院をしたその後の経緯を詳しく知らなかったので知ることができて良かった。
- ・大変参考になりました。今後の支援の助けになります。

- ・自宅退院や転院で退院調整することがあるが、抗生剤との間に外出するというのは初めて聞いたので驚いた。はじめは無口なAさんだったが、自分の想いを伝えられたのは、医療者の関りが良かったのではないかと感じた。